

施策：	10	高齢者福祉の充実 ~地域包括ケアシステムの推進~	財務コード	01030102-03-00
基本事業：	01	社会参加と生きがいづくり	担当部	健康福祉部
基本事業の成果指標	地域活動等に参加している高齢者の割合 生きがいを持っている高齢者の割合		担当課	高齢者支援課
			担当係	高齢者福祉担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	昭和43年度 ~		新規・継続	継続	会計区分		実施計画			
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）			2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）							
88歳、99歳、100歳以上の市民、地域コミュニティ組織			筑紫野市敬老祝金支給要綱に基づき、高齢者福祉の向上に寄与することを目的に、高齢者の長寿を祝い、対象となる高齢者に対し敬老祝金を支給するもの。 【対象者】 88歳、99歳、100歳以上の者（当該年度の3月末日までに対象年齢に達する者を含む）で、7月31日現在において筑紫野市に居住し、住民基本台帳に記録されている者。 【祝金の額】 88歳 3,000円 99歳 10,000円 100歳以上 20,000円 【支給方法】 新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、口座振込により支給（9月15日から支給開始）、100歳の者には主管課職員が支給。							
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）										
地域コミュニティ組織と協働し、対象者の長寿を祝うことで、敬老の意識と高齢者福祉への関心の向上につながっている。										
4. 成果（簡易評価は未記入）										
成果指標名称		単位	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度	07年度	目標	
			実績	実績	当初	要求	計画	計画		
85歳以上の高齢者数（支給人数）		人	4,274	569	650	650			700	
5. コスト										
事業費		計	千円	20,691	3,765	5,035	5,181			
		国	千円	0	0	0	0			
		県	千円	0	0	0	0			
		地方債	千円	0	0	0	0			
		その他	千円	0	0	0	0			
一般	千円	20,691	3,765	5,035	5,181					
正職員人工数		人工	0.7	0.7	0.2					
正職員人件費		千円	5,620	5,545	1,546					
トータルコスト(事業費+正職員人件費)		千円	26,311	9,310	6,581	5,181				
6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）										
あがっている		【現 状】支給人数は減少した。								
どちらかといえばあがっている		【原 因】支給対象者の見直しを実施したため。								
あがっていない（停滞・低下）		【その他】限られた財源の中で、少子高齢化の進む将来を見据えた取り組みを推進するため、対象者を絞り込み、交付要綱を改定した。コロナ禍で口座振込での対応とするため、コミュニティ連絡会及び自治会長会等を通じて説明後、広報で周知した。								
7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）										
対象動向	維持	類似事業	なし	コロナ禍で接触を避けるため、口座振込で対応した。家族による代理申請が多く、在宅状況の実態を調査し、口座振込の継続について検討する。						
手段効率化余地	あり	コスト削減余地	なし							
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし							
上位貢献度	影響度は小	業務推進課題	あり							
成果向上余地	小さい									
8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）						改善方向性	維持	見直し	廃止	事業終了
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）										
事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）										
老人福祉法第5条に基づく老人の日記念事業として、高齢者の長寿を祝い、多年にわたり社会の発展に寄与してきたことに感謝するために事業が開始された。近隣市町村における対象者・金額・支給方法等を調査し、令和3年度から対象者を縮小して実施。					備考・特記事項 or 進行管理欄					
新100歳のうち、事前アンケートによって希望があり、かつ日時調整がついた者数名には市長もしくは県知事等の訪問を行う。										